

国際会議のねらい

International Life Sciences Institute, ILSI は、1978 年にアメリカで設立された非営利の団体です。科学的な視点で、健康・栄養・安全性・環境に関わる問題の解決および正しい理解を目指すとともに、今後発生する恐れのある問題を事前に予測して対応していくなど、活発な活動を行っています。

ILSI Japan は ILSI の日本支部として 1981 年に設立され、その 10 周年記念として、1991 年に第 1 回「栄養とエイジング」国際会議を開催し、以降 4 年に一度、同国際会議を開催して参りました。

本国際会議は、人類がこれまで経験したことがない超長寿社会における新たな栄養、健康のサイエンスをテーマに、国内外の研究者による先端の科学・技術に関する講演、研究発表・討論を実施し、その内容はプロシーディングスとして出版され、高い評価を得て参りました。

今回の第 8 回会議は、2012 年の厚生労働省「健康日本21(第2次)」の中で掲げられた「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」Sustainable Development Goals(SDGs)に鑑み、世界に先駆けて超高齢社会を迎えている日本が、アジア全体を見据え、栄養とエイジングの分野で「健康寿命の延伸」実現の方向性を示し、世界に貢献することを目指し企画しております。

国際会議の内容

具体的な内容として、第一部では、「栄養とエイジング」研究の 30 年を振り返るとともに、政府主導で進められている「健康日本21」の現状把握とその国際比較について考察します。第二部では、ILSI Japan の取組みとして、機能性食品ゲノミクス(東大寄付講座)、健康な食事研究会、栄養科学と運動科学の融合に関するシンポジウムの成果を報告する予定です。第三部では、「プレジジョン・ニュートリションが拓く健康の未来」をテーマに、人が健康に生きていく上で欠かせない食事・栄養・運動を対象とした、人工知能(AI)やビッグデータなどの新技術／データサイエンスを駆使した新たな研究および社会実装手法の状況とその可能性について議論します。本国際会議の内容は国際的

に広く理解を得るため、英文雑誌への投稿を予定しています。

本会議の翌年、2020 年には、人々の健康の基盤となる栄養分野の取り組みを促進するために「栄養サミット」が東京オリンピック・パラリンピックとともに開催されます。また、国際保健機関(WHO)は、Global Monitoring Frame on NCDs (the Political Declaration on Non communicable Diseases)として、①肥満と糖尿病の増加阻止、②塩分摂取量を 30%減少、③高血圧の 25%の減少、という 3 つの世界共通目標を 2025 年までに達成することを掲げています。このような大きな政策的な動きの中で、本会議を通して ILSI Japan としての取り組みを社会に提言していくことは非常に重要であり、また、それに相応しい充実した内容にする所存です。

本国際会議は、国内外から先端のエキスパートを講師として招聘することに加え、より活発なご議論をいただくために、食品、医薬品および関連企業の経営者と研究開発担当者、臨床医、栄養士、健康・栄養およびエイジングに関わる国立・公立および民間研究機関の研究者、国および地方自治体の健康・栄養政策担当者のご参加を予定しています。

日本で開催されるこの国際会議には国内外の学界、産業界および政府機関の方々からも大きな期待が寄せられています。多数の皆様のご参加を得てこの会議がその目的を十分に果たし、益々進行する高齢社会に貢献する科学の発展に寄与し、産業界の進むべき方向を示すことに繋がることを期待しております。

用語 日本語、英語(同時通訳付)

参加登録費概要(事前登録は 2019 年 7 月 31 日まで)

会 員	:25,000円 (事前登録 20,000円)
非 会 員	:30,000円 (事前登録 25,000円)
学 生	: 7,000円 (事前登録 5,000円)
懇 親 会	:10,000円 (事前登録 7,000円)

* 詳細なプログラムや参加登録手続きについては、2019年4月末 ILSI Japan ホームページに掲載する予定ですので、そちらをご覧ください(<http://www.ilsijapan.org/>)。

プログラム

メインテーマ:

“平均寿命と健康寿命が一致する社会の実現～ヘルスケアの未来に、サイエンスから導く個別化栄養”

◇セッション1:オーバービュー

- ・長寿社会の課題と可能性
- ・日本の栄養政策の歴史
- ・健康日本 21(第2次)の現状と課題
- ・International Research Developments Focus on Human Variation in Response to Food and Nutrients
- ・総合討論

◇セッション2:ILSI Japan の取り組み

- ・健康な食事研究会
- ・東京大学機能性食品ゲノミクス
(寄付講座成果の総括)
- ・ライフサイエンスシンポジウム総括:
運動科学と栄養科学の融合
- ・総合討論

◇セッション3:プレジジョンで拓く健康の未来

- ・特別講演
- ・最先端データサイエンス(AIと個別化栄養)
- ・Personalizing Nutrition for Healthy Aging
- ・Gut Microbiome and Nutrition
- ・Sub-genomic variation in the gut microbiome associates with human metabolic health
- ・アミノ酸バイオマーカー
- ・運動・身体活動と普及科学
- ・時間生物学:生物時計と生体リズム
- ・パネルディスカッション

ILSI Japan
第8回「栄養とエイジング」国際会議

“平均寿命と健康寿命が一致する社会の実現”

組織委員会

- 委員長: 宮澤 陽夫 ILSI Japan 会長 東北大学 未来科学技術共同
研究センター(NICHe) 教授
- 委員: 安川 拓次 ILSI Japan 理事長、花王株式会社エグゼクティ
ブ・フェロー
- 木村 毅 味の素株式会社 取締役 常務執行役員
- 桑田 有 人間総合科学大学大学院
人間総合科学研究科 教授
- 坂田 隆 石巻専修大学 理工学部 教授
- 谷口 茂 株式会社明治 執行役員 研究本部
研究戦略統括部長
- 阿部 圭一 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究
所 理事
- 阿部 文明 森永乳業株式会社 執行役員 研究本部 素材
応用研究所 所長
- 岩元 睦夫 公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会
会長
- 清水 誠 東京農業大学 応用生物科学部 栄養科学科
教授
- 辻村 英雄 サントリー食品インターナショナル株式会社
取締役副社長
- 戸上 貴司 ILSI Japan CHP(健康推進協力センター)シニア
アドバイザー
- 中江 大 東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康
学科 教授
- 松山 旭 キッコーマン株式会社 取締役常務執行役員
研究開発本部長
- 守田 稔 森永製菓株式会社 健康科学研究センター長
- 山田 雄司 山崎製パン株式会社 執行役員 中央研究所
所長
- (敬称略、順不同)
- 実行委員: ILSI Japan 栄養研究部会、ILSI Japan 事務局

ILSI Japan
The 8th International Conference
on Nutrition and Aging

ILSI Japan

第8回「栄養とエイジング」国際会議

“平均寿命と健康寿命が一致する社会の実現～
ヘルスケアの未来に、サイエンスから導く個別化栄養”

開催日

2019年10月1日(火) 2日(水)

開催場所

東京 青山 国際連合大学 ウ・タント国際会議ホール

主催

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構
(ILSI Japan)



ILSI

International Life
Sciences Institute
Japan

特定非営利活動法人
国際生命科学研究機構
〒102-0083
東京都千代田区麹町 3-5-19
にしかわビル 5階
webmaster@ilsijapan.org
http://www.ilsijapan.org/

